

次号予告

特集 音楽とOR

- 音楽における自動処理と Directability片寄晴弘 (関西学院大学)
音声認識から見た音楽情報処理嵯峨山茂樹 (東京大学)
音楽を探る—オペレーションズ・リサーチ的手法を使って—
..... Julián Villegas, Michel Cohen (会津大学)
音楽創作とコンピュータ音楽 葉 孝之 (ランカスター大学)
人間の認知的特性に基づく音楽設計理論の構築に向けて 竹中 毅 (産業技術総合研究所), 他

編集後記

●日本における新しい制度として「裁判員制度」が今年5月21日に施行されました。国民の中から選ばれた裁判員が裁判官とともに審理に参加する司法制度です。実際に裁判員が審理に加わるのは8月頃かららしいので、本号がみなさんのお手元に届く頃には新しい制度が動き始めているかと思います。

●私は裁判を題材とした小説や映画が好きなのですが、その一つにジョン・グリシャム原作の「陪審評決」(映画では「ニューオーリンズ・トライアル」)があります。この小説に登場するのが「陪審コンサルタント」という職業です。そんな陪審コンサルタントは、米国では立派にビジネスとして成り立っていて、有名

人が被告の裁判では欠かせない存在になっているようです。

●日本では? と思っていたら「裁判員コンサルタント」が登場するTVドラマが放映されたり、雑誌やラジオなどで陪審コンサルタントのことが扱われたりと、密かに話題になっているようです。

●今月号の特集は「メカニズム・デザインに関する多面的アプローチ」です。現実社会の制度設計は一筋縄ではいかない難しい問題だとは思いますが、是非とも数理的・工学的なアプローチがその一助になればと願うばかりです。ちなみに、昨年度の事例研究賞の一つは「裁判員制度における判決の信頼性」でした。

(渡邊 勇)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 牧本直樹 (筑波大学)

委員 池邊淑子 (東京理科大学), 石井儀光 (畑建築研究所), 尾崎尚也 (財鉄道総合技術研究所), 恐神貴行 (日本アイ・ビー・エム(株)), 木村新之介 (東京ガス(株)), 草刈君子, 栗田佳文 (防衛省), 高野正次 (日本電信電話(株)), 齋藤彰一 (株構造計画研究所), 高嶋隆太 (千葉工業大学), 田島博之 (秀明大学), 筒井美樹 (財電力中央研究所), 豊泉 洋 (早稲田大学), 生田目崇 (専修大学), 西川武一郎 (株東芝), 増田浩通 (千葉工業大学), 八木恭子 (東京大学), 渡邊 勇 (財電力中央研究所)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成21年8月号 第54巻 第8号 通巻584号

代表者 伏見 正 則

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032
<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 牧本 直 樹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ